



小中一貫教育だより

平成28年11月30日 No.32
(小中一貫教育推進だよりから 通算No.66)
十日町市教育委員会学校教育課



光陰矢の如し

学校教育課小中一貫教育係
嘱託指導主事 樋口 孝義

十日町市の小中一貫教育は、平成22年に「十日町市小中一貫教育基本計画策定委員会」を設置し、その提言（基本計画）に基づき23年度からモデル中学校区での試行を経て、26年度からは全中学校区に広めた。完全実施して3年が過ぎ、今、3年間の総括を各中学校区、教育委員会、小中一貫教育連絡協議会等で行っている。

立ち上げから関わらせていただいた私にとって、まさしく光陰矢の如しである。この間、それぞれの中学校区では「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子ども」の旗印の下、ねらい（課題）である「中1ギャップの解消」「不登校児童生徒の解消」「学力の向上」「地域の小中学校関係者の連携」に努力してきた。毎年実施している取組評価等から判断すると、それぞれ変化の度合いは違っているとしても、確実に改善され、そして向上している。年2回の小中一貫教育市教委訪問では、嘱託指導主事として全中学校区に出席し、感想や要望を言わせてもらっている。どの中学校区も「右ならえ」することなく、実態を踏まえた特色ある取組をしている。企画・実践の中心として取り組んでいる管理職をはじめとする統括コーディネーター、校内コーディネーター、担当者に感謝である。

さて、先ほど「光陰 矢の如し」の諺を使った。これはご存じのように月日の経つのは早いという意味だけでなく、あっという間で二度と戻ってこないから無為に過ごすべきではないという戒めの意味も兼ねている。この3年間を無駄にしない、これからの取組を無為なものにしないためにも、私が今考えていることを二つ述べてみたい。

一つ目は小中連携や協議会の在り方である。中越教育事務所訪問や市教委訪問での公開授業、その準備として事前に中学校区全体で指導案検討する所が増えている。どのような課題を用意するか、アクティブ・ラーニングをどう取り入れ、児童生徒の話し合いの場を保障していくか等、指導案に多くの工夫が見られるのはいい傾向だと嬉しく感じている。欲を言えば、折角小中で指導案検討や授業後の協議会をするのであるから「系統性・整合性」の視点を取り入れてほしいと願う。つまり、9カ年の系統の中でその教材の価値付けや既習事項・未習事項とのつながりである。意識して書き入れている指導案もあるが残念ながら少ないし、協議会では話題になることも少ない。専門教科の中学校教員から声を発してもらい、「系統性・整合性」から見た小中での指導の仕方を検討してほしいのである。

二つ目は地域を取り込んだ教育、地域と行う相互評価に関することである。市教委は各小中学校のコミュニティ・スクールを推進するため、今後具体的な方向を示す予定である。残念ながら十日町市の中学校区の多くは人口減であり、地域の活性化が課題である。地域活性の担い手は学校でもある。まずは学校単位で地域とともに行う教育活動や学校に対する地域住民の声を洗い出し、できるものから中学校区に広げ「学校が元気に」「地域が元気に」なることで教職員の意識改革、学校・地域の課題解決にもつながると信じる。

真の意味での「光陰矢の如し」に結び付けるため、3年間をしっかりと評価し、私たちがやってきたことは子供にどのような影響を与え、どのような成果が出たか、今後のために何を改善しなければならないかを考える必要がある。それが小中一貫教育導入時の地域・教育委員会、教職員の願いでもある。



■ 1 日異校種体験研修のさらなる実施のお勧め

1 日異校種体験研修はこれから実施するところもわずかにありますが、ほぼどの中学校区も計画通り予定していた研修を終了したのではないのでしょうか。その総括については後程まとめて一貫だよりに載せたいと考えています。

日常より小中合同の事業や交流活動、相互の授業参観・研究協議を実施しているわけですが、「なぜその上に“1 日異校種体験研修”を行うのか」、「小規模校は1 日学校を空けるのが大変」という言葉も聞きます。

今一度「1 日異校種体験研修」の趣旨をご理解いただきたいと思います。

実施した後の研修者及び研修者所属校長、受け入れ先校長の「報告書」を読みますと、大切なことに気づいた、必要なことが分かった、今後の方向づけを考えた、などというものが多くあります。

中学校教諭

小学校の丁寧な指導があり、今の中学校の生徒が活動できていると改めて思った。学習面では、きめ細やかな児童の見取りや声掛け、ICTを活用し児童の興味関心をもたせるように指導していることが印象的でした・・・（中略）・・・今後、小中学校の9年間の学びをより大切にしていく必要を感じた。算数・数学では、どのような接続をすると児童生徒の学びが充実したものになるか考え、実践していくことを早急に行いたい。

小学校教諭

私は小学校の免許しかないので、中学校の生活を1 日体験することができ、大変貴重な経験をすることができました。6 年生として卒業させた生徒が、大きく成長した姿に驚きました。私の方が小学生と中学生の違いに戸惑っていたのですが、中学校の生活リズムや学習・部活に対する姿勢を学ぶことができ、小中の接続を具体的に考え、小学生が自信をもって進学できるよう指導にあたっていきたいと考えました。

受入先中学校校長

当事業で小学校の教諭を受け入れるにあたり、中学校の教育活動の“参観”が主になることを変えたいと考えた。今回は、研修教諭が体育の免許を有していることから、1，2 年生合同体育での乗り入れ授業を実施した。実技指導では、教師による試技の披露や技術的なつまづきへの具体的な指導が可能となり大変有効な機会となった。小中一貫を進めるうえで、新しい教科指導の形が期待できる場面であった。

研修者所属小学校校長

中学校での授業体験を通して、教科の指導や家庭学習の課題の与え方など、小学生のうちから確実に身に付けさせて行かなければならないことがあることを具体的に学び取ることができた。

この経験を生かし、中学校につなぐことを意識した教科指導や学級経営にあたっていくことを期待する。

郡市教職員敬名簿を見ると、小学校教員の75%以上が中学校の多様な教科の免許（1 種、2 種を合わせて）を持っています。中学校教員は、約20%が小学校の免許を持っています。1 種も多く小学校専修免許を保持している教員も3 名います。中学校教員は、教科免許で小学校の教科を指導できます。

ぜひ、小学校教員も中学校教員もそれぞれで乗り入れ授業（出前授業でなく）を行うことで、教科の指導観、系統性のある教科指導を学んでほしいと思います。



今、大きな学校行事や活動が終わって一段落したこの時期及び3 学期にかけて、当初計画していなかったが、1 日異校種体験研修をやってみようか、ということもあっていいと思います。

（文責 丸山公一）

■教育相談班より

～第2回不登校研修会の実施～

11月9日(水)第2回不登校研修会が行われました。今回の研修では、不登校調査の概略版の報告と不登校調査を踏まえた「学校の取組」の再検討(グループ協議)を中心に行いました。講師の新潟大学教職大学院教授 神村 栄一 先生からは、再検討の視点や後期に向けての取組のポイントについて御指導いただきました。

グループ協議の話題から、

○不登校の大きな要因の1つに学力不振があるが、小学校と中学校での学習に大きなギャップがあるように感じる。小学校では、みんなで活動しながら学ぶことが多く、自分はできると感じる児童が多いのに対し、中学校に入ると定期テストなどになり自分の学力があからさまになり、自己肯定感が一気に下がる生徒が出てくる。このギャップを小・中で考えていく必要がある。

また、個々の児童生徒の学力実態に応じて、個別のアプローチをしていくことが必要ではないか。

○中学校に派遣されているスクールカウンセラーを小学校でうまく活用することで、早くから相談できる体制ができるのではないか。

○市の臨床心理士や専門医療などにつなげたいが、家庭とつないでいくハードルが高い。行政が入って、つなぐしくみをつくれないうか。

○発達支援センターの情報をもっと学校で活用できないか。

というような意見がでました。

これから、雪が降ってきます。不登校リスクの高い児童生徒のリストアップと徹底的な個別支援で、新たな不登校を生まないよう、引き続き取組をお願いします。



■学習指導班より

瀧沢先生から、「中学校英語」の授業を学ぶ ～英語科授業力養成講座 Part2～

11月9日(水)埼玉県寄居町立寄居中学校・教諭の瀧沢広人先生をお招きし、南中学校を会場に1年生英語の示範授業と「英語を話せる生徒の育成～Output 理論からの挑戦～」と題した講演会を行いました。瀧沢先生からは以前、小学校外国語活動の講師としてお出でいただき、今回2回目の来市となりました。今回の師範授業では、「話す活動」として、実際に中学生を対象にたくさんのプログラムを紹介していただきました。参加者にとって、明日からの授業に生かせる内容となりました。



外国語については、ご存じのとおり、次期学習指導要領では小学校3年生から「外国語活動」の実施、小学校5年生から教科としての「英語科」が実施されます。教育センターでは、このことを踏まえ次年度以降の「外国語教育」に関する研修を小学校へも拡充する方向で検討しています。

英語ボランティアガイド養成講座から ～中学校訪問(プレゼン発表会)～

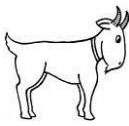
今年度からの新規事業「英語ボランティアガイド養成講座」のまとめのプログラムとして、10月17日(十中)、24日(水沢中)、31日(南中)の3校でプレゼン発表会を実施しました。(3校は講座に参加している中・高校生の在籍校または出身校ということで、各校に開催を依頼しました。)

十日町市の豊かな自然や文化などの郷土の魅力について、8名の中・高校生が英語で発表しました。中学校2年生英語の教科書に出てくる「観光パンフレット作ろう—自分の町を紹介する文章を書こう!」と関連した内容として、貴重な時間となりました。



■中学校区の取組（11月～12月）

中学校区名	平成28年11月の取組	平成28年12月の予定
拡大中学校区  (いじめ見逃しゼロ集会)	■11月9日(水) 中学校区小中交流会 ・十日町中 十日町小、東小 ・中条中 中条小、東小、飛一小 ① 授業参観 ② 交流活動「いじめ見逃しゼロスクール集会」 ③ 部活動体験 ■11月10日(木) 中学校区研修会(※計画訪問) ・十日町中(特別活動)授業、研究協議会	□12月26日(月) 中学校区コーディネーター会議 ・9時半～ 中条中学校
南 中学校区  (中学校体験入学)	■11月1日(火) 4日(金) 8日(火) 9日(水) 職員小中交流・情報交換会 ・授業、部活動、児童会活動の参観 ・各校コーディネーター、研究主任との情報交換 ■11月4日(金) 川治小、西小保護者情報交換会 ■11月10日(木) 南中学校体験入学 体験授業、授業参観、学校説明会、部活動体験 ■11月11日(金) 学区教職員研修(※計画訪問) ・西小学校 3年算数「2けたのかけ算」	□中学校区小中一貫教育だよりの発行 □小中一貫教育 班会議 各班ごとに実施
吉田中学校区  	■11月1日(火) 1日異校種体験研修 吉田小・関教諭→吉田中へ ■11月14日(月)～18日(金) 第2回『パワーアップウィーク～めざせ！生活リズムの達人～』 ■11月21日(月) 小中合同保健指導 『パワーアップ作戦』小5、6、中1対象 保護者も2名参加 ※写真上 ■11月22日(火) 小中いじめ見逃しゼロ絆集会 ・午後 吉田中 ※写真下 ・各校の取組発表、小中交流、宣言文づくり	□12月13日(火) 薬物乱用防止教室 ・小・小連携(6年生) 今年度より、小学校就学時検診・1日入学の機会に保育園年長児に生活実態アンケートをとった。1番の課題は、就寝時刻が21時を過ぎていたこと。兄弟関係から小学生との連携が必要であると考え、小保同時期に生活リズムの徹底を図り、小1ギャップの解消をねらおうとするものである。
下条中学校区	■11月9日(水) 1日異校種研修 下条小・小山教諭→下条中 	□12月14日(水) 1日異校種研修 ・下条中山本教諭→下条小 □12月15日(木) 合同講演会 ・「地域出身者講演会」 ・日本ハム大淵GMスカウター ・5限、中学生、小5、6年生参加 ※午後7時～一般対象の公演も実施
水沢中学校区 	■11月5日(土)～11日(金) 元気アップ週間 ■11月9日(水) 水沢中学校区いじめ見逃しゼロ絆集会 13:55～水沢中学校 小5・6年生と中学校3年生が一堂に会し、いじめ劇を見て、小グループに分かれてロールプレイをしたり、いじめに対してどう臨んで行ったらいいか考えたりする機会としました。 ■11月21日(月) 社会育成研修会 15:00～水沢小 ■11月22日(火) 進学指導委員会 15:00～馬場小 ■11月25日(金) 小中連携社会性育成推進総合支援チーム訪問 13:25～水沢小	□12月12日(月) 中学校区小中一貫教育三部会 午後 水沢中  【11.9 いじめ見逃しゼロ絆集会】

川西中学校区 	■11月7日(月)川西中学校区職員研修会 橋小(算数)午後(※写真はグループ討議まとめ) ■11月14日(月)～22日(火)家庭学習強調週間 中学校のテスト期間にあわせて学習習慣の形成に取り組みました。 ■11月29日(火)中学校体験入学 小6年生が中学校生活の一部を体験しました。	□12月1日(木)中学校区授業研修会 川西中学校(理科)午後 □12月27日(火)中学校区コーディネーター会議
中里中学校区  (吹奏楽部体験)	■11月2日(水)～15日(火) 睡眠チェック2週間チャレンジ 「眠育」に焦点を当て実態を把握するための2回目の取組です。川西地区の保育園、小学校、中学校が連携して実施しました。 ■11月3日(木)中里地域芸能祭に4校が参加 ■11月4日(金)中里地区小中一貫特別支援部会 ■11月8日(火)地区教職員研修会(貝野小) ■11月9日(水)中里中体験入学 ■11月15日(火)1日異校種研修 田沢小・樋熊教諭→中里中 貝野小・小島教諭→中里中 倉俣小・田村教諭→中里中 ■11月16日(水)睡眠チェック2週間チャレンジ 終了後に各家庭にアンケート調査を実施	□12月 小中一貫教育評価アンケート実施 □12月6日(火)中里地区小中一貫教育推進会議 □12月7日(水)中里地区小、中校長、保育園長会(中里中) □12月9日(金)地区教職員研修会 田沢小(算数)田沢小※計画訪問 □12月13日(火)携帯安全教室 田沢、倉俣、貝野小5、6年生  【11.9 体験入学は5年生から】
松代中学校区  【小6・中1地層学習】  【小5・中1合同体育】	■11月1日(火)小6・中1合同地層学習 小中共通の学習单元を、中学校教諭がメインテチャーとなり、現地で説明や指導をしました。 ■11月2日(水)松代小授業研究(5年国語) ■11月7日(月)～11日(金) 今年度第2回目のすこやかウィークを実施 ■11月10日(木)学区教職員研修会 松代小(6年国語)※計画訪問 ■11月15日(火)小5・中1合同体育 異学年交流と体力向上を目的としたコーディネーショントレーニング。 ■11月16日(水)松代中授業研究(2年国語) ■11月17日(木)松代中全学年道徳授業公開 ■11月21日(月)松代中授業研究(3年社会)	□12月22日(木)松代中学校区小中一貫教育だより「まつだいの子」発行 □11月26日(月)松代地区教育振興会第3回委員会、委員長会 ・今年度の活動のまとめ ・来年度へ向けての方策 ・ランドデザインの見直し 2, 10, 16, 17, 21日の小中の授業研究には、それぞれ小中教職員が相互に参観、研究協議をしている。
松之山中学校区  【松之山小やぎのめい】	■11月7日(月)中学校区教職員研修会 松之山小5年授業研に中学校職員も参加 ■11月10日(木)小中一貫準備会議(休養村セ) 中学校定期テストに併せ小中同時に実施 ■11月10日(木)～家庭学習強調週間 ■11月14日(月)PTA役員選考会 小中PTAの一本化に伴い、小中の保護者から、会長1名、副会長2名を選考しました。 ■11月28日(月)こども里山学会 小学校5年生、中学校1年生が参加しました。	□12月8日(木)小中一貫準備会議 松之山休養村センター □12月12日(月)学区教職員研修 松之山小「4年まつのやまタイム」の授業公開 □12月20日(火) まつのやますこやか子育てネット 「子育てグループワーク」